

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひみつきち		公表日 2026年 3月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	*動ける壁心死と、動けない壁心死がそれぞれに安心して過ごせるよう、配置に工夫をしている。 *その日の利用児に合わせて、棚等を片付ける工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		動きのある児が利用の日は、スタッフを増やしたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	耳だけではなく、目でも情報が伝わるよう「絵カード」等も準備し、活用している。	声や動きを自制できない児に対しての設備(防音)を充実。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	*支援室内段差を作らず、オモチャ入れ等も角にクッションを付け危険回避をしている。 *物も少なく、視界が開けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別対応には事務室の一角を使用。今後は静養室の整備を整える予定。	クールダウンが出来るスペースがあるといい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日出勤の常勤が「目標設定・振り返り」をし、他のスタッフに申し送りをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様の評価は常勤が確認している他、面談時にも意向を確認し、全スタッフ間で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		小さい事業所の為「外部評価」は実施していないが、今後必要であれば考える。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	事業所側からだけではなく、スタッフ自ら参加したい研修には参加出来る。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	年間の試練プログラムはHPIに、毎月のレクの活動内容は前月の末に保護者様にプリントを配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	面談の際には前回の面談以降の児の様子やスタッフ間での支援の振り返りの内容をお伝えし、保護者様の意向を確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		今後、標準化されたツールの使用により、アセスメントを実施していく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	担当が「案」として提出したものを、スタッフ間で確認・意見交換をしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	パートスタッフは送迎車乗車し降車後、近隣の駅での退社となる為、車内口頭報告となる。 事業所に戻り、常勤が振り返りをし、必要に応じ記録を残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	重心児の為「自己判断」が出来ない場合もあるが、可能な限り「選ぶ」ことが出来るように支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	保護者様を通しそれまでの機関から申送り書を見せて頂いたり、計画相談のいる児には計画相談さんから情報を頂いている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		※クラブ内を含む重心児には難しい。 *ラポール等の企画には参加しているが、地域のz児との交流は難しい。 *外出時には挨拶等をし、近隣の方々と交流している
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		時間が合わずに全てには出席出来ていないが、出来る限り出席するように調整したい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時を利用し、情報共有を図っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		*保護者からの依頼があれば行いたい。 *必要に応じて関係機関との連携を基に情報提供を行いたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約の際には伝えているが「大体他と同じですよ」と仰られるウこともあるがお伝え出来るようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	利用前の初回面談や「個別支援計画」書き換え面談時を利用し以降の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	7	兄弟姉妹の交流は実施したいと思っているが、体制的に難しくまだ行えていない。出来る範囲の中で	*きょうだい同士で関わる理由が分からない。その子にはその子のコミュニティーがあるのでは。 *保護者間では既に関係性が出来ている。 *きょうだい交流は実施したいが、体制的に難しい。人数・内容等を工夫して考えていければいい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	「避難訓練の報告」「保健だより」等、プリント配布にて報告し、日々の活動はInstagramにて公表している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	散歩等で近所の方々に「こんにちは」と児も一緒に挨拶をしている。	*今後、地域を招待出来る行事を企画し、交流を図れるようにしたい。 *地域の行事に参加出来るようにしたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	*訓練後はプリント配布で報告をしている。 *訓練はInstagramやプリントでお知らせしている。マニュアルについてもいつでも確認出来るよう準備している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時の書類に記載のお願いをし、それを確認しながら面談している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーに関しては確認はしているが、事業所で調理はしておらず、昼食・おやつは自宅から持参のお願いをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		詳細な周知は出来ていないので、今後周知出来るようにしたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	外部の研修に参加し、その際に配布されたテキストを事業所内に置き、誰もが確認出来るようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			